

コロナ禍と政治

26 期 直嶋正行

安倍総理が国民の信頼を失いつつあります。元々、森友・加計問題での不透明な土地売却や書類改ざん・隠ぺい、さらには昨年の桜を見る会での政治の私物化と不適切な公金使用等々、多くの国民のひんしゆくを買ってきました。特に、森友との関係では、担当職員が自ら命を絶つという不幸な出来事まで生じたことは、ご承知の通りです。

それに加えて、この度の新型コロナ対策です。緊急事態と言いながら待てど暮らせどなかなか届かないアベノマスクや給付金、巨額の予算の執行を得体のしれない団体に丸投げの中小企業対策、一向に改善されない PCR 検査、国会軽視の 10 兆円もの予備費など、挙げればきりがありません。これでこの国は本当に大丈夫？と思っておられる国民の皆様も多いのではないのでしょうか。

長期政権のおごりからくるタガのゆるみも加わり、明らかに政権末期の様相と言っても過言ではありません。

これ以上、この国のかじ取りをこの人たちに任せてよいのでしょうか？今こそ、国民の一人一人が政治の状況をきちっと見てどうすればよいのか考えようではありませんか。そして次の国政選挙で国民としての審判を下そうではありませんか

*事務局より

北辰会 26 期 直嶋正行（前参議院議員）さんより賛助金と共に「なおしまレポート」が寄せられました。参議院議員を退いても身の回りで直嶋さんの政治に関する情熱が伝わります。

